

教科	理科	科目（単位数）	地学基礎（2）	学年	2	類型	文系
学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、地学的な探究の方法を身につけさせるようにするとともに、地球の自然環境と日常生活や社会との関わりを考えることができるようにする。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 1 地球の概観 2 地球の内部構造	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の地球の形と大きさの測定法を理解する。 ・地球の形は楕円体であることを理解する。 ・地球内部の層構造と構成物質を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	第2章 活動する地球 1 プレートと地球の活動 2 地震 3 火山活動と火成岩の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・プレートの動きと境界について理解する。 ・地震の分布とメカニズムの関係を理解し、防災意識を高める。 ・火山の分布とプレートテクトニクスの関係を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方 1 堆積岩とその形成 2 地層と地質構造 3 地層と歴史の区分と化石	<ul style="list-style-type: none"> ・風化、侵食、堆積作用と地形との関係を知る。 ・地層累重の法則や堆積構造を理解する。 ・化石の意義を理解し地層の対比を行い、地質時代を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	第2章 地球と生命の進化 1 先カンブリア時代 2 顕生代	<ul style="list-style-type: none"> ・地球誕生以来の地球の歴史における先カンブリア時代を考察し、各時代の出来事を理解する。 ・生物の進化と地球環境の変化を考察し、各時代の出来事を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 3学期 学年末考査	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造 1 大気圏 2 水と気象	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の組成と気圧および大気の層構造と特徴を理解する。 ・対流圏での水の状態変化と気象現象について理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査～ 年度末	第2章 太陽放射と大気・海水の運動 1 地球のエネルギー収支 2 大気の大循環 3 海水の循環	<ul style="list-style-type: none"> ・地球のエネルギー収支と温室効果を理解する。 ・熱の輸送と大気の大循環の関係を理解し、風吹き方を知る。 ・表層海流と大気の大循環の関係や深層循環を理解し、長期の気候変動について考察する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「地学基礎」啓林館 「ニューステージ新訂地学図表」浜島 「研究ノート」博洋社						
学習方法	授業と復習 （予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること）						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み						